

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日

2020年2月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高知市	代表者名	市長 岡崎誠也
担当者部署	総務部市長公室政策企画課	連絡先電話番号	088-823-9407
担当者役職		担当者氏名	
住所	780-8571 高知県高知市本町5丁目1番45号		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大島 正美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	・行政データをオープンにするのが目的ではなく、いかにオープンデータを活用できるかという視点での研修カリキュラムの協議ができたことは良かった。(オープンデータが進んでいない地域であるため、研修受講者にも受け入れられやすいと考える) ・地方がおかれている立場を踏まえた上での経験談や、現在講師自身が取り組んでいるオープンデータ活用に関する情報をお伺いでき、また今後の取組に繋がる人材を紹介いただくなど、れんけいこうち統計データ活用事業を進める上でとても有意義な協議となった。
アドバイザーへの要望事項	・もう少し参加人数が集まることを想定していたが、予想を下回る人数であったことから、「オープンデータ」という言葉自体が県内の市町村職員に浸透していないことが考えられるため、今後の広報等での発信の方法についてもアドバイスをいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月3日	10時00分	17時00分	180	240
3-2. 派遣場所	会場名	高知市役所	最寄駅	高知駅	
	所在地	高知市本町5丁目1番45号			
	最寄駅からの交通手段	とさでん交通路面電車 高知駅→はりまや橋(乗換)→県庁前 下車 徒歩1分			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	高知市職員(他、大学教授、大学講師、県職員が参加)	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・高知大学との連携で事業を進めているが、大学の研究分野が産業振興が主な分野となっており産業連関分析等に強みがあるため、事業内容が産業振興以外の分野へ広がっていないこと、地図データ等の活用やデータの見せ方については得意分野でないことが上げられる。 ・将来のオープンデータ化についても、そもそもの仕組みやオープンデータに関する知識を有した人材が少ないため、今後の気運醸成に繋げるためには活用事例等の学習機会が必要である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・研修参加者が、オープンデータに関する基礎知識の習得や国内の動向のを把握し、今後のオープンデータを含めた統計データ活用に向けての意識醸成、啓発に繋げる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・2月4日に開催される研修資料の最終打ち合わせと、今後のオープンデータ活用の可能性について、事例紹介をしていただきながらアドバイスをいただいた。 ・課題となっている産業振興以外の分野の大学教授(防災、医療分野)とマッチングしていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・2月4日の研修については、オープンデータに関する基礎知識や活用事例を紹介いただく「講義」と、実際に活用する例としてマッピングを体験する「ワーク」の2部構成とし、初めてオープンデータに触れる受講者に対しても入りやすい内容となっているため、満足度の高い研修になることが期待される。 ・紹介いただいた大学教授に、今後のれんけいこうち統計データ活用事業を進める上で、防災・医療分野で連携することとなり、広い分野での市町村職員の人材育成に繋がることが期待される。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	具体的な成果は出ていないものの、今回の協議を経て今後事業を推進するなかでの様々な方向性や可能性を見出すことができたので、今後は詳細を詰めながら来年度の事業内容の作成をする予定である。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	・研修実施前の段階では、特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・研修実施前のためありません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	・マッピング等を活用しながら、統計データを見せる部分を意識しながら官民ともに統計データ活用への意識、興味を高める。 ・産業振興以外の分野の職員が、統計データを活用することで施策の立案及び検証ができるようになる。 ・目標時期：令和4年度末(統計データ活用事業の計画期間最終年度)	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月5日

派遣決定番号 K329

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高知市	代表者名	市長 岡崎誠也
担当者部署	総務部市長公室政策企画課	連絡先電話番号	088-823-9407
担当者役職	地方創生推進担当係長	担当者氏名	有光孝仁
		連絡先E-mail	kc-010900@city.kochi.lg.jp
住所	780-8571 高知県高知市本町5丁目1番45号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大島 正美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	・行政データをオープンにするのが目的ではなく、いかにオープンデータを活用できるかという視点で研修を進めていただいたので、オープンデータが進んでいない地域にも関わらず、研修受講者は受け入れやすかった。 ・地方がおかれている立場を踏まえた上での経験談や、現在講師自身が取り組んでいるオープンデータ活用に関する情報も研修の中で紹介いただいたことで、活用のイメージがしやすかった。
アドバイザーへの要望事項	・もう少し参加人数が集まることを想定していたが、予想を下回る人数であったことから、「オープンデータ」という言葉自体が県内の市町村職員に浸透していないことが考えられるため、今後の広報等での発信の方法についてもアドバイスをいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月4日	10時00分	15時15分	75	240
3-2. 派遣場所	会場名	高知市役所	最寄駅	高知駅	
	所在地	高知市本町5丁目1番45号			
	最寄駅からの交通手段	とさでん交通路面電車 高知駅→はりまや橋(乗換)→県庁前 下車 徒歩1分			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 県職員、市町村職員、大学講師	人数 16人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) ・高知大学との連携で事業を進めているが、大学の研究分野が産業振興が主な分野となっており産業連関分析等に強みがあるため、事業内容が産業振興以外の分野へ広がっていないことと、地図データ等の活用やデータの見せ方については得意分野でないことが上げられる。 ・将来のオープンデータ化についても、そもそもの仕組みやオープンデータに関する知識を有した人材が少ないため、今後の気運醸成に繋げるためには活用事例等の学習機会が必要である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・研修参加者が、オープンデータに関する基礎知識の習得や国内の動向のを把握し、今後のオープンデータを含めた統計データ活用に向けての意識醸成、啓発に繋げる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・午前と午後の部に分けての研修を実施 【午前】講義(オープンデータに関する基礎知識の習得、中国エリア等の活用事例の紹介) 14人 【午後】ワーク(活用例として、自市町村の施設情報をジオコーディングレマッピングを体験) 10人	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・アンケート結果から見ても、オープンデータについて「聞いたことはあった」「知らなかった」が約62%であったものの、理解度については「理解できた」「ある程度理解できた」が100%と、当初目的であったオープンデータを含めた統計データ活用に向けての意識醸成、啓発に繋がった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他	目に見えての成果ではないものの、アンケート結果にもあるように日常業務の様々なシーンでオープンデータの考えを入れていこうという積極的な姿勢に繋がった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	・今後も、継続してオープンデータの推進・活用に向けた学習機会を設けることで、オープンデータに関する知識を有した人材の育成を進める必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ※アンケート結果については添付資料を参考	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	
事業の最終的な目指す姿	・マッピング等を活用しながら、統計データを見せる部分を意識しながら官民ともに統計データ活用への意識、興味を高める。 ・産業振興以外の分野の職員が、統計データを活用することで施策の立案及び検証ができるようになる。 ・目標時期：令和4年度末(統計データ活用事業の計画期間最終年度)	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

